

金融理解度向上のための年齢層別カリキュラム^(注)(素案)

	経済のしくみと消費者行動	貨幣の価値と機能、金融のしくみ	金融商品・サービスの内容	生活設計	消費者としての自立
幼稚園 (所有できるものは限られていることを知る)	ものを大切にすることを学ぶ 自分の物と他人の物の区別を学ぶ 欲しいものをすべて手に入れることはできないことを学ぶ 約束を守ることを学ぶ 労働の価値に気付かせる(実践的指導例: 家事を手伝ってみよう促す)	貨幣の基本的な機能を理解する(実践的指導例: 買物ごっこ)			
小学生(低学年) (自分と家族を取り巻く経済原理を理解する)	ものを大切にすることを学ぶ 欲しいものを全部手に入れることはできないことを学ぶ 約束を守ることの重要性を理解する 目標達成のためには意思決定が必要なことを理解する 労働の価値を学ぶ(実践的指導例: 学校や家庭で身の回りの仕事をしよう促す) 身の回りで行われている生産・消費活動について理解する	硬貨や紙幣を正しく識別する なぜ貨幣に価値があるのか理解する 貨幣の機能を理解する(実践的指導例: 小額の買物をする機会を作る) 消費税について理解する 外国では別の通貨が使われていることを理解する	預金の基本的な機能を理解する(実践的指導例: 銀行や郵便局に預金をしてみよう促す) 預金にいろいろな種類があることを学ぶ	計画を立てて消費することを学ぶ(実践的指導例: 欲しいものを短期的にがまんした経験を話し合う) 貯蓄の意義を理解し、貯蓄の習慣を身に付ける(実践的指導例: 貯金箱にこづかいやお年玉を貯めてみよう促す)	要らない物を買ったり買ってもらったりしないようになる 不良品に注意することを学ぶ 生活を取り巻くさまざまなリスクについて学ぶ
小学生(中学年) (地域を取り巻く経済の原理を理解する)	労働の価値を学ぶ(実践的指導例: 学校や家庭で進んで仕事をするよう促す) 両親の労働とお金の関係を理解する 身の回りの生産と消費活動を結び市場のしくみを理解する 身の回りで行われている投資活動について理解する	暗算でおつりを計算できるようにする 多くの人が欲しいがものは値段が上がることを理解する(実践的指導例: スーパーなどで商品の値段調べをする) 銀行の基本的なしくみを理解する	プリペイドカードの機能と使い方について理解する	貯蓄の意義を理解し、貯蓄の習慣を身に付ける(実践的指導例: 比較的長期間こづかいを貯めた経験を話し合う) 年齢相応の額の金銭を管理できるようになる(実践的指導例: 預金も含めて自分で金銭を管理するよう促す)	見かけに惑わされず自分に必要な物を選んで買えるようになる
小学生(高学年) (日本をとりまく経済のあらましを理解する。生活設計の考え方に触れる)	日本の産業構造と流通のしくみを理解する	金利の機能と計算方法を理解する(実践的指導例: 単利の計算を行ってみる)	主な預金商品の特徴を理解する ATMの基本的な利用方法について理解する	貯蓄の意義を理解し、貯蓄の習慣を身に付ける(実践的指導例: 長期的な目標に向けてこづかいを貯めた経験を話し合う)	自分に必要な物を考えて買えるようになる 消費生活センターの役割を知る
中学生 (金融・経済の基本的なしくみや金融サービスの利用について理解する。生活設計の必要性に気づく)	売買と貸借の違いについて理解する 市場競争と比較優位について理解する 公共的な目的での生産・投資活動の存在を理解する	金利の機能と計算方法を理解する(実践的指導例: 複利の計算を行ってみる) 証券市場の基本的なしくみを理解する 銀行等金融機関の社会的な機能を理解する 中央銀行の機能、金融政策について理解する 保険の基本的なしくみを理解する	株式と債券について理解する	自分の将来について考え、その裏付けとして経済的な面からの生活設計が必要なることを知る	誇大広告や悪徳商法を見分け、被害に遭わずにすむようになる 消費者保護基本法、消費者の権利や責任を学ぶ 製造物責任法について理解する リスクとリターンとの基本的な関係について学ぶ
高校生 (金融・経済<税制、社会保障制度を含む>のしくみや金融サービスの利用方法とリスクについて理解する。生活設計の考え方を学ぶ)	契約と自己責任について理解する 公的年金、健康保険、雇用保険、介護保険の具体的なしくみを理解する	金融市場の構造と機能を理解する さまざまな金融機関の社会的な機能を理解する 中央銀行の機能、金融政策について理解する(実践的指導例: 望ましい金融政策について議論する)	預金、株式、債券、生命保険、損害保険の機能を理解する 手形・小切手、クレジットカード、デビットカード、キャッシュカード、ローンカードの機能としくみを理解する ローンのしくみを理解する 外国為替、外貨建て金融商品の機能とリスクを理解する	進路決定に向けて情報を集め、意思決定する 職業選択と生活設計を結び付ける 自らのライフプランニングについて考える	契約を締結する際の留意事項と自己責任について学ぶ 消費者契約法について理解する 消費者として苦情を申し立てる方法を学ぶ クレジットカードやローンを利用する上での注意点を理解する 金融商品におけるリスクとリターンの関係について学ぶ 金融に関する情報収集方法を学ぶ
成人 (金融・経済<税制・社会保障制度を含む>や金融サービスの利用方法・リスクの具体的な内容を理解する。生活設計を立てる)	契約と自己責任について理解する 年金、健康保険、雇用保険、介護保険などの社会保障制度を正確に理解する 規制緩和と自己責任について理解する	金融市場の構造と機能を理解する さまざまな金融機関の社会的な機能を理解する 中央銀行の機能、金融政策について理解する ネット銀行やネットショッピングについて理解する	預金、株式、債券、投資信託、生命保険、損害保険などの機能と商品内容を理解する 手形・小切手、クレジットカード、デビットカード、キャッシュカード、ローンカードの機能としくみを理解する ローンのしくみを理解する 外国為替、外貨建て金融商品の機能とリスクを理解する 預金保険制度とペイオフについて正確に理解する	家計における収入と支出を把握し、家計簿を記帳できるようになる 家計の資産の状況と収支の見通しに基づき、金融商品・サービスおよび社会保障制度に関する正確な情報を収集し、合理的な生活設計を立てることができるようになる 必要に応じて生活設計を見直すことができるようになる 自分の子どもに対し、年齢相応の教育ができるようになる	契約を締結する際の留意事項と自己責任について学ぶ 消費者契約法について理解する セーフティネットについて理解する クレジットカードやローンを利用する上での留意点を理解する 金融商品のリスクとリターンについて理解する 金融商品販売法について理解する 消費者として苦情を申し立てる方法を学ぶ 金融に関する情報収集方法を学ぶ

(注) ここでカリキュラムとは、学校教育法施行規則に定める学習指導要領を指すものではなく、学習内容について体系的に組み立て、理解を進めやすいように整理したものを言う。